



2019年度

地域連携事業の概要

[TOPICS]

『日経グローバル』大学の地域貢献度調査で公立大学2位に！

2019年10月21日発行の『日経グローバル』374号で発表された「大学の地域貢献度調査」において、本学が全国の公立大学の中で2位（横浜市立大学と同率）、総合では13位にランクインしました。本学の地域貢献に関する制度的な取り組みへの積極性や、図書館の開放など、市民に開かれた大学であることが評価されました。（このランキングは、日本経済新聞社が全国755の国公立大学を対象に行った調査への回答を元に、大学が教育や研究などの機能を通じて地域社会にどのような貢献をしているかを「地域貢献度」として点数化して順位づけしたものです。）

大阪市との連携強化に向けたスタートアップ支援事業

地域貢献

● 事業概要

本学の設置団体である大阪市とのさらなる連携の推進をめざして、大阪市の行政活動の事業化に向けた初動の取り組みを財政的に支援する2017年度からの継続事業です。大阪市の区・局・室から挙げられた行政ニーズと学内の教育・研究シーズとのマッチングに向けたコーディネートを行い、マッチングが成立した案件について、事業予算（2019年度：100万円）の配分を行いました。

● 2019年度実績

連携事業候補7件についてコーディネートを行ったところ、2件のマッチングが成立しました。

■ 成立状況

大阪市担当部署	案件名	担当教員
西区	地域コミュニティ形成に向けた取組み支援	水内 俊雄 教授(都市研究プラザ)
健康局	大阪市健康増進計画「すこやか大阪21(第2次後期)」推進のための調査研究	川野 英二 教授(文学研究科)

大阪市職員提案制度 若手職員応援部 ～想いを導くwith 市大～

地域貢献

● 事業概要

大阪市職員人材開発センターが実施する職員提案制度・若手職員の部に、本学が協力しています。40歳未満の若手職員グループが応募した、よりよい市政・区政を実現するための政策・施策に関する提案に対し、本学教員が提案内容に対するブラッシュアップや発表に至るまでの指導・助言を行います。提案は審査の上、優秀な成績を収めた場合は市長表彰の対象となり、市職員の人事考課にも反映されます。

● 2019年度実績

提案者	大阪市水道局職員(4名)
提案名称	AR(Augmented Reality・拡張現実)システムを用いた地下埋設物情報表示に関する基礎検討
提案概要	地中埋設物に関する情報を地上で正確に把握するための三次元地中埋設物図を作成する。またARを活用し、作成した地中埋設物図を現実世界に表示することで、現場で掘削せずに地中埋設物を確認可能な状態にする。これにより、掘削工事における配管等の破損リスク低減、工事期間短縮を実現する。
支援担当教員	鍋島 美奈子 教授・小林 祐貴 講師(工学研究科)
審査結果	優秀賞



教員による支援の様子

地域貢献

西成情報アーカイブネット企画運営事業

● 事業概要

西成特区構想のもと、2013年より継続実施している西成区からの受託事業です。地域に現存する歴史的価値・学術的価値のある資料を収集・整理・デジタルアーカイブ化し、また学習会や交流企画を実施することにより、歴史の正確な理解と地域力の醸成、西成区のイメージアップを図ることを目的としています。

● 2019年度実績

■ 拠点における常設展示・資料解説・閲覧対応

場 所：大阪市社会福祉研修・情報センター 1階

■ 小学校への出張授業

開催日：2019年9月3日(火)

対 象：千本小学校6年生(62名)

講 師：水内 俊雄 教授(都市研究プラザ)

■ にしなり今昔探訪ツアー

西成・浪速・大正区「境域」と木津川の知られざる魅力発見

開催日：2019年10月26日(土)

参加者：約30名

案内人：水内 俊雄 教授(都市研究プラザ)、吉村 智博 学芸員(西成情報アーカイブ)

コース：芦原橋駅、鼈川橋梁跡、新田帯革工場跡、浪速(坐摩)神社、南海木津川駅、タカラベルモント工場前、木津川の渡し など

■ その他

- ・ 資料アーカイブ作業
(釜ヶ崎日雇労働者組合所蔵資料、松繁逸夫旧蔵資料、山王町会所蔵資料等)
- ・ 取材対応・資料提供(NHK大阪、ベイコムテレビ等)



小学校での出張授業の様子



にしなり今昔探訪ツアーの様子

「東成区の地域資源」魅力発信のための調査業務

● 事業概要

東成区の地域資源を魅力的に発信するため、まち歩きを通じて地域資源の収集を行い、現地を歩きながらスマート端末で見ることが出来るよう、地域資源の地図アプリへの掲載を行っています。

● 2019年度実績

これまでに収集したコンテンツのデジタルデータ整理と更新のほか、本格運用に向けた作業手順書や仕様書の作成を行いました。また制作された地図アプリを実際にタブレットやスマートフォンで利用しながら区内を歩き、大学教員等から解説を行う、区民を対象としたスタディツアーを区役所と共同で開催しました。

■ 収集したコンテンツの整理、編集、地図アプリへの掲載

■ 地図アプリの試行的運用、デザインの作成

■ 地図アプリの作業手順書、仕様書の作成

■ “ひがしなり”スマホで魅力発見！まち歩きツアー

開催日：2019年11月30日(土)

参加者：約30名



地図アプリ画面イメージ



アプリを利用したまち歩きの様子

案内人：水内 俊雄 教授(都市研究プラザ)、天野 景太 准教授(文学研究科)、吉田 大介 准教授(工学研究科)、大塚恒平氏(HERE Japan株式会社/Maplat開発者)、宮田 孝夫氏(地域ガイド)、比売許曾神社宮司、八阪神社宮司

コース：比売許曾神社、東小橋村集落跡、亀の橋跡、松下幸之助創業の地、仁丹看板、大阪セルロイド会館、いまざとならみち道標、大今里村集落付近(共同管理墓地など)、奈良街道、玉津橋、八阪神社、二軒茶屋、東小橋北公園など

「副首都・大阪」大学連携プロジェクト

地域
貢献

● 事業概要

大阪府・大阪市がめざす「副首都・大阪」をテーマに、学生が調査及び研究を行い、その成果を発表する「副首都・大阪」連携プロジェクトに、松永桂子准教授(経営学研究科)ゼミが参加しました。「大阪人とのふれあい ～持続可能な観光につなげて～」というテーマで、ヒアリングやフィールドワークを重ね、成果報告会に臨みました。

主催：大阪府・大阪市

● 2019年度実績

参加校：大阪市立大学、関西大学、摂南大学、大阪経済大学

■ キックオフ・合同講義

開催日：2019年5月27日(月)

場 所：大阪府庁舎

内 容：大阪府・大阪市副首都推進局から「副首都ビジョン」についての説明、グループワーク

■ 中間報告会

開催日：2019年9月29日(日)

場 所：大阪経済大学大隅キャンパス

内 容：各大学のプレゼン発表、各大学教員および大阪府・大阪市関係者からコメント、グループワーク

■ 成果報告会

開催日：2019年12月22日(日)

場 所：大阪市立大学健康科学イノベーションセンター

内 容：各大学のプレゼン発表、各大学教員および大阪府・大阪市関係者からコメント

松永ゼミは「大阪人とのふれあい ～持続可能な観光につなげて～」というテーマで、ヒアリングやフィールドワークを行いつつ、調査及び研究を行ってきたこと、中間報告会で得られたアドバイスをもとに発表を行いました。これまでゼミの中で取り組んできた地方の観光と対比させることで、都市における観光の特徴をまとめつつ、さらに大学で行われる「学祭」にも着目し、学祭を外国人観光客と地域住民の交流の場とする、新たな視点の提案を行いました。



成果報告会での発表の様子



コメントされる松永先生

JR西日本×大阪市立大学 「第1回まちのにぎわい創出アイデアコンテスト」

● 事業概要

JR西日本と大阪市立大学による初の連携企画として、JR大阪環状線・阪和線エリア内の駅周辺地域の活性化に関するアイデアコンテストを実施しました。JR西日本では、大学と連携した地域活性化の取り組みを進めており、大阪の公立大学である本学との連携に関して地域連携センターに相談いただいたことがきっかけで実現に至りました。



● 2019年度実績

本学の通学インフラでもあるJR大阪環状線・阪和線沿線において、地域課題を解決し、または地域を活性化させ、まちのにぎわいを創出することに関する、既存概念にとらわれない学生ならではの新しいアイデアを募集しました。文系・理系、学部生から社会人大学院生まで幅広い学部・研究科からエントリーがあり、中間報告会・最終報告会を経て、JR西日本社員による審査で最優秀賞とベストユニーク賞が決定されました。



質疑応答の様子

■対象区間：JR大阪環状線、阪和線(天王寺～日根野～関西空港)

■参加者数：8組(11名)

■表彰：最優秀賞(1組)、ベストユニーク賞(1組)

■副賞：往復のJRとカニ・フグ・クエなどの冬の味覚がセットになった駅プラン、京都鉄道博物館入館券

■JR西日本による説明会 開催日：2019年7月3日(水)

■中間報告会 開催日：2019年9月11日(水)

■最終報告会 開催日：2019年11月29日(金)



参加者全員で記念撮影

タイトル	発表者
【最優秀賞】 食のまち 大阪の駅から健康発信！！～食を通じて健康と笑顔をお届け～	岡林 恵(生活科学研究科修士2年)
【ベストユニーク賞】 待ち時間を街時間に	木村 優輝、武島 侑里 (工学研究科修士1年・2年)
JRの駅がより地域の玄関口となるために	犬田 美穂(文学部3年)
海外の観光客が定住し にぎわいませ 大阪のまち～阪和線編～	大賀 清雄(都市経営研究科修士1年)
音声合成ソフト「VOCALOID」や「VOICEROID」等を利用したJR利用客の増加案	新 雄一郎(ボカロ部/文学部4年)
アプリを通じて外国観光客に大阪の魅力を紹介する	朱 瑩(生活科学研究科修士2年)
大阪ベイエリア大改造プロジェクト～大阪ええもん展ウィーク～	安居 航太、福本 勝、濱西 将宜 (経済学部3年)
バリアフリー-OSAKA ワイワイガヤガヤ車両！	中永 浩伸(都市経営研究科修士1年)

すみ博協賛 市大キャンパスツアー 「近代建築・豊かな植栽と歴史をひもとく」

地域
貢献

● 事業概要

毎年秋に大阪市住吉区で開催されている「すみよし博覧会(すみ博)」への協賛企画として、キャンパスツアーを開催しています。

● 2019年度実績

メタセコイアをはじめとした杉本キャンパス内のさまざまな植栽について、実際に見たり触ったりしつつ、歴史的建築物としての本学の建物の魅力についても解説し、地域の方に親しんでいただきました。

開催日: 2019年10月20日(日) **参加者:** 20名

案内人: 水内 俊雄 教授(都市研究プラザ)、北村 昌史 教授(文学研究科)

コース: 杉本キャンパス内の植栽(メタセコイア、オリーブ、ユーカリ、ケヤキ、月桂樹など)、建築物(1号館、学生サポートセンター、旧書庫、学術情報センター屋上庭園など)



三木茂教授が発見した
メタセコイアについて

住吉区老人福祉センター 市大キャンパスツアー

地域
貢献

● 事業概要

住吉区老人福祉センター利用者からの「大学の近くに住んでいるのになかなか行く機会やきっかけがない」という声に応え、本学の大学祭である银杏祭の開催期間中に、キャンパス内を案内する解説ツアーを実施しています。

● 2019年度実績

2019年度は3回目の開催となり、例年のコースに加え、馬術部が世話する厩舎などを見学しました。

開催日: 2019年11月1日(金) **参加者:** 20名

案内人: 社会連携課職員

コース: 学術情報総合センター屋上庭園、1号館、五代友厚像、馬術部厩舎、高原記念館等



厩舎にて、馬術部学生と馬との
ふれあい

子育てママの社会科見学@ぐるぐる

地域
貢献

● 事業概要

子育て中で離職している女性向けに、家庭のみの閉塞感から解放されリラックスできたり、自己肯定感を高めたりできるような居場所を体験し、「当事者コミュニティへの参画」を促すための実証事業として、大阪市男女いきいき財団との共催で実施しました。

● 2019年度実績

現役の子育てママたちが中心になって組織された「あおぞら湯」が運営する「中津つどいの広場“ぐるぐる”」に訪問し、施設の見学や参加者間での交流会を実施しました。参加者からは、「同じような気持ちを共感できてよかった」、「自分の今を見つめなおすきっかけや答えをいただきました」などの感想をいただき、初対面で出会った人同士にも関わらず交流を深め、当事者コミュニティへの参画の機会提供となりました。

開催日: 2020年2月19日(水) **場所:** 中津つどいの広場「ぐるぐる」

参加者: 24名(女性14名、子ども10名)

※本事業は、令和元年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」(文部科学省)として実施しました。



代表理事の笠井さんから話題提供